

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和6年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	オーケストラ等
----	----	----	---------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	無	申請総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	コウエキザイダンホウジンフジサンシズオカコウキョウガクダン	団体ウェブサイトURL	
	公益財団法人富士山静岡交響楽団	https://www.shizukyo.or.jp/	
代表者職・氏名	理事長 岩崎 清悟		
制作団体所在地	〒 422-8072	最寄り駅(バス停)	小黒3丁目南部体育館前
	静岡県静岡市駿河区小黒2-9-10		
電話番号	054-203-6578		
ふりがな 公演団体名	コウエキザイダンホウジンフジサンシズオカコウキョウガクダン	団体ウェブサイトURL	
	公益財団法人富士山静岡交響楽団	https://www.shizukyo.or.jp/	
代表者職・氏名	理事長 岩崎 清悟		
公演団体所在地	〒 制作団体と同じ	最寄り駅(バス停)	制作団体と同じ
	制作団体と同じ		
制作団体 設立年月	1988年11月		
制作団体組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	理事長:岩崎清悟 専務理事:宮澤敏夫	理事:17名 監事:2名 事務職員:7名 楽団員 44名 楽員はオーディションを受け使用期間を経て入団	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者を置く	本事業担当者名	前田 衛 佐生 豊
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者名	中田 健
本申請にかかる連絡先 (メールアドレス)	sasou@shizukyo.or.jp		

<p>制作団体沿革</p>	<p>1988年静岡県内在住の音楽大学を卒業した演奏家36名によって「静岡県にプロオーケストラを」を合言葉に結成し、同年11月20日”静岡市民芸術祭”に参加する。その後準備を重ね、1991年11月26日「静岡室内管弦楽団」として第一回定期演奏会を開催。同時に後援会組織を発足。 1994年4月25日音楽監督に堤俊作氏を迎え、「静岡交響楽団」と改称し、プロの音楽団体としての活動を本格化させる。 2003年4月23日後援会組織を解散し、「特定非営利活動法人静岡交響楽団」として設立認証を受けスタート。 2020年11月30日「特定非営利活動法人静岡交響楽団」の事業のみを継承し、「特定非営利活動法人浜松フィルハーモニー管弦楽団」と合体して「一般財団法人富士山静岡交響楽団」としてスタートする。 2022年4月1日公益財団法人の認定を受け、「公益財団法人富士山静岡交響楽団」としてスタート、現在に至る。 2022年6月7日「特定非営利活動法人静岡交響楽団」を解散する。 静岡県内唯一の常設プロオーケストラとして、定期演奏会、企業協賛特別演奏会を始め、まちかどコンサート、病院、老人福祉施設、こども園などへのアウトリーチ、また学校向けの音楽鑑賞教室など、大小合わせた演奏会は年間150回を数える。</p> <p>オフィシャルパートナー24社 法人会員82社</p>		
<p>学校等における公演実績</p>	<p>2018年23校 2019年37校 2020年18校 2021年24校 2022年 静岡県内 21校 千葉県・香川県・徳島県 各1校 計24校</p>		
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>2018年2校 2019年3校 2020年1校 2021年2校 2022年 静岡県内 2校 訪問校:知的障害特別支援学校、聴覚特別支援学校、肢体不自由特別支援学校</p>		
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>無</p>	
	<p>※公開資料有の場合URL</p>		
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	
		<p>PW:</p>	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 公益財団法人富士山静岡交響楽団】

対象	小学生(低学年)	○		
	小学生(中学年)	○		
	小学生(高学年)	○		
	中学生	○		
企画名	オーケストラを楽しもう！			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>指揮者がお話しをしながら進行します。</p> <p>1. ロッシーニ:歌劇『ウィリアム・テル』序曲 より「スイス軍の行進」 2. 杉浦邦弘編:ふじの山〜こどものための楽器紹介〜 3.【指揮者体験】ベートーヴェン:交響曲第5番「運命」第1楽章 冒頭 4.【小学校向け】ビゼー:歌劇『カルメン』前奏曲 による打楽器体験とボディパーカッションによる共演 4.【中学校向け】全校合唱もしくは器楽合奏での共演(吹奏楽部との共演も可) (合唱共演候補曲 1.マイ・バラード 2.LET'S SERACH FOR TOMORROW 3.心の瞳 4.夢の世界)</p> <p>休憩10分 【パターンA】(小学生向け) 5. ハチャトゥリアン:バレエ『ガイーン』より「剣の舞」 6. グリーグ:『ペール・ギュント』第1組曲 より 第1曲「朝」 第3曲「アニラの踊り」 第4曲「山の魔王の宮殿にて」 7. チャイコフスキー:バレエ『眠れる森の美女』より「ワルツ」 8. 校歌(オーケストラスペシャル編曲版) 【パターンB】(中学生向け) 5. モーツァルト:歌劇「フィガロの結婚」序曲 6. ボロディン:交響詩「中央アジアの草原にて」 7. ドヴォルザーク:交響曲第9番 第1楽章 8. 校歌(オーケストラスペシャル編曲版)</p> <p style="text-align: right;">休憩含め 公演時間 80 分</p>			
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要 否	該当あり	該当コンテンツ名	
	該当事項がある 場合	権利者名 作曲者、出版社	許諾確認状況	使用(上演)許諾取付済み
演目概要	<p>オーケストラを初めて聞く児童・生徒に、オーケストラを印象付けることを最大の目的として、児童・生徒に興味を持ってもらえるよう有名曲を中心に選曲しました。大編成のオーケストラの迫力と繊細さを知ってもらい、作曲者が描いた情景などを、音楽の旋律から想像する力を身に着けることを願ったプログラムです。</p> <p>また事前のワークショップとのつながりも重視し、ワークショップで本公演の成果が出せるようなプログラムとしました。体験を伴う曲では、より分かりやすく、広く知られていている曲を選び、体験しながらでも、音楽を聴くことができるよう選曲しました。演奏を聞くだけでなく体験・共演をすることでよりクラシック・オーケストラ音楽に親しんでもらえるような演目を目指しています。</p>			
演目選択理由	別紙参照			
児童・生徒の共演、 参加又は体験の形態	<p>1.指揮者体験:ワークショップで練習した内容をもとにフルオーケストラで実演。3名程度の選抜で体験。 2.打楽器共演:歌劇『カルメン』前奏曲をシンバル・バスドラムといった楽器を演奏して、リズムに合わせて演奏する体験をします。選抜した生徒がオーケストラの中に入って共演。ほか児童・生徒は自分の席で拍手又は自分の体をたたく等して参加。 3.合唱共演/器楽共演:4曲ほどの合唱共演の候補曲の中から選んで共演。またはリコーダー・吹奏楽部の方と器楽共演。共演曲は学校様と相談して決定します。 4.校歌共演:オーケストラ用に編曲された校歌をオーケストラをバックに合唱。全児童・生徒参加。 事前に開催されるワークショップで練習した事とつながりを持たせる共演・体験プログラムを多く取り入れています。</p>			
出演者	<p>指揮者:松川智哉、米田覚士、(別添資料有)他(仮) オーケストラ:55名(別添資料有) 編成 10,8,6,5,4/2,2,2,2/4,2,3,1/Tim、Per3</p>			
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含 む	出演者: 56 名 スタッフ: 9 名 合 計: 65 名	運搬	積載量: 2 t 車 長: 7 m 台 数: 1 台	

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	9:00	9:00～11:00	13:00～14:20	10分	14:20～15:20	15時20分
※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。						

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
		5日		4日	9日	
	11月	12月	1月	計	30日	
	8日	4日				
※平日の実施可能日数目安をご記載ください。						

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	制限なし
		鑑賞人数目安	400名

【舞台の規模】



【指揮者体験】

【打楽器共演】



【校歌合唱】

【楽器紹介】木管パート



公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出がわかる写真)

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。

【公演団体名 公益財団法人富士山静岡交響楽団】

児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	制限なし
ワークショップ 実施形態及び内容	<p>静響メンバーによるワークショップ開催。</p> <p>休憩時間を含め80分程度(2時限程度)の時間</p> <p>【体験・共演】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指揮体験練習 全員で指揮者の手・体の動かし方を体験します。自分の指揮で実際に、楽員4名がどのように演奏するのか感じていただきます。 ・打楽器/ボディパーカッション体験 本公演での演奏曲に合わせて演奏することで、曲を知ってもらい、リズムを打つ練習をします。演奏に合わせて自分の体を楽器として使用して共演をします。音楽をよく聞いて、演奏に合わせる練習をします。 <p>【学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラシック・オーケストラ音楽の説明 「3拍子、4拍子」などの拍子が存在する理由・楽器の構造や演奏スタイルの違い・バロック音楽を立てて演奏する理由・作曲家について・地域による音楽の違い、などのオーケストラに関連する音楽・楽器の説明をします。 ・「コンサートマナー」の勉強 コンサートを見に行った時に求められるマナーの説明をします。 ・ミニコンサート 本日のワークショップのまとめの演奏でもありますが、コンサートマナーの勉強を活かす場です。 ・児童・生徒からの質疑応答 ・楽器の演奏を始めたきっかけ・楽器演奏の難しさは・演奏家としての日常は・・・など様々な質問をしてもらいそれに答えます。 		
ワークショップのねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・演奏者の人間性と児童・生徒がしっかりと向き合った内容とし、児童・生徒と積極的に接する。 ・優れた演奏家による本物の生の音楽と触れ合うことで、クラシック音楽への興味を深めていく。 ・ワークショップでの体験・共演を通して、本公演でオーケストラを体験することへの期待感を高めていく。 ・音楽を聴くだけでなく、演奏に参加することで、児童・生徒の体でオーケストラの音を感じてもらう。 ・オーケストラマナーを学ぶことで、コンサートの堅苦しさを排除し、敷居を下げる。 		
その他ワークショップに関する特記事項等	<ul style="list-style-type: none"> ・公演時間は休憩を含み80分程度(2時限程度)の時間ですが、公演時間・休憩時間などは学校のご要望に対応可能です。 ・可能な限り体育館での実施を希望します。 		

本事業への申請理由

【公演団体名 公益財団法人富士山静岡交響楽団】

①本事業に対する取り組み姿勢

富士山静岡交響楽団は2020年浜松フィルハーモニー管弦楽団と合体し、2022年4月より公益財団法人の認可を受け、名実ともに静岡県を代表するオーケストラとなりました。

「良い音楽を地域に」を当楽団の指名とし、県内外での演奏会を小さな編成からフルオーケストラまで幅広く、多数、開催しています。

児童・生徒向けの鑑賞教室も年間20公演を超え、音楽鑑賞教室を通して、将来「文化を語れる大人」になってもらい、見識のある人になってもらえるように力を注いでいます。

この文化庁の「文化芸術による子供の育成事業」は富士山静岡交響楽団の思いを実現するプログラムとして有意義な事業と考えます。

単に演奏会で音楽を聴いてもらうだけではなく、オーケストラと体験・共演をしていただくことでより効果的に、児童・生徒にオーケストラ音楽・クラシック音楽が浸透させることができる事業であり、この事業でしか実現できないことです。

当楽団もその役割を十分に担えるオーケストラに成長していると自負しておりますので、是非ともこの事業に参加させていただきたいと思っております。

②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫

専門の担当者を置き、各学校の先生方との打ち合わせを綿密に行い、円滑な運営となるよう留意します。会場は児童・生徒がより効果的に楽しめる会場作りに努めます。

事前のワークショップと本公演のつながりを持たせ、ワークショップで練習した内容をもとに、本公演で体験・共演するという関連性を持たせます。ワークショップで事前に練習しておくことで、本公演での説明時間が短くなり、その分リスニングの時間を増やすことも可能となります。

本事業に対する
取り組み姿勢、および
効果的かつ円滑に実施
するための工夫

リンク先	No.2	【公演団体名 公益財団法人富士山静岡交響楽団】
出演者	<p>ゲストコンサートマスター 大森潤子 1st ヴァイオリン 岡田恵里 小川亜希子 加藤悠希 対馬裕美 舟山 奏 増田訓子 山村妙子 橋本知歩 2nd ヴァイオリン 井柳葉月 近藤由理 酒井静香 中山智子 三浦文路 山本実希 ヴィオラ 川口さくら 坂口昂平 鈴木香奈江 寺田さくら 山寄優樹 チェロ 生駒宗煌 鈴木穂波 土山如之 コントラバス 清 祐介 方壁さをり 山西貴久 フルート 井畑志保 中嶋めぐみ オーボエ 篠原拓也 高橋早紀 クラリネット 渡辺繁弥 塚本陽子 ファゴット 岡本あけみ 東 実奈 ホルン 柳谷 信 田中沙弥 阿部華苗 森田めぐみ トランペット 守岡未央 トロンボーン 中川亜美 鶴田 陸 バストロンボーン 星野和音 ティンパニ 久保 創 パーカッション 山田祐将 山西由里 他エキストラの出演あり</p>	

リンク先	No.2	【公演団体名 公益財団法人富士山静岡交響楽団 】
指揮者プロフィール		<p>松川 智哉（指揮者・まつかわ ともや）</p> <p>洗足学園音楽大学音楽学部作曲コースを経て、東京藝術大学音楽学部指揮科卒業、同大学院音楽研究科指揮専攻修士課程修了。大学の推薦により、野村学芸財団奨学生。2021年度山田貞夫音楽財団指揮者オーディションにて山田貞夫音楽賞ならびに特選を受賞、第三回新進指揮者コンサートにてセントラル愛知交響楽団を指揮。2022年度より、セントラル愛知交響楽団アソシエイトコンダクター。2019～2021年、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団指揮研究員を務め、各種公演に指揮者アシスタントとして関わり研鑽を積む。</p> <p>これまでに指揮を尾高忠明、高関健、Douglas Bostock、川本統脩の各氏に、作曲・音楽理論を久行敏彦氏にそれぞれ師事。これまでに、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、芸大フィルハーモニア管弦楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、富士山静岡交響楽団、セントラル愛知交響楽団、大阪交響楽団他を指揮。現在、オーケストラ、吹奏楽、合唱の指揮者として幅広く活動する他、オペラの副指揮者として多数の公演に参加。佐渡裕プロデュースオペラ、びわ湖ホールプロデュースオペラ、藤沢市民オペラ、東京・春・音楽祭などで副指揮者を務める。</p>
		<p>米田 覚士（指揮者・よねだ さとし）</p> <p>東京藝術大学音楽学部指揮科卒業。平成30年度安宅賞受賞。</p> <p>指揮法を小田野宏之、高関健、ピアノを長瀬賢弘の各氏に師事。</p> <p>2017年6月に東京音楽大学特別講座指揮公開マスタークラスのオーディションに選出され、パーヴォ・ヤルヴィ氏のレッスンを受講。同年8月に熊本県立劇場にて山田和樹氏による公開講座を受講。2021年10月、第19回東京国際音楽コンクール<指揮>に入選。</p> <p>以降、札幌交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京都交響楽団、読売日本交響楽団、愛知室内オーケストラ、富士山静岡交響楽団、大阪交響楽団、岡山フィルハーモニック管弦楽団、東京混声合唱団などを指揮するほか、2022年11月にはBBCPromsJAPANにて角野隼斗、NAOTOの各氏と共演するなど、活動の幅を広げている。</p>

リンク先	No.2	【公演団体名 公益財団法人富士山静岡交響楽団】
演目選択理由		<p>1. ロッシーニ: 歌劇『ウィリアム・テル』序曲 より「スイス軍の行進」 日本でも広く知られるクラシック音楽作品の1つ。曲はアップテンポで次第に盛り上がり、盛大なクライマックスで締めくくられ、次の曲以降へのわくわく感を提示。小学6年生の音楽鑑賞教材。</p> <p>2. 杉浦邦弘編: ふじの山〜こどものための楽器紹介〜 オーケストラで使用される楽器を、静岡の交響楽団ということで「ふじの山」のメロディに乗せて紹介します。杉浦氏の編曲は楽器のみの紹介ではなく、木管・金管・弦・打楽器各セクションのアンサンブルも取入れ、各セクションの音色を鮮明にしています。最後には全体のアンサンブルでオーケストラの彩をみせ、全体で13分ととてもコンパクトにまとめられた優れた作品です。</p> <p>3.【指揮者体験】ベートーヴェン: 交響曲第5番「運命」第1楽章 冒頭 この曲の冒頭は、日本人なら誰もが知っているといえますが、知られていないのが「冒頭部分は休符で始まるため合わせにくく、指揮者や楽団員にとっては緊張する瞬間である」という点です。その旋律が「自分の指揮で」あるいは「ほかの児童・生徒さんの指揮で」どのようにオーケストラが演奏するのか、変わるのかを体験してもらいます。小学6年生の音楽鑑賞教材。</p> <p>4.【小学校向け】ビゼー: 歌劇『カルメン』前奏曲 による打楽器体験とボディパーカッションによる共演 オペラの中でも最も有名で、どこをとっても名曲ぞろいな作品を、シンバル・バスドラムといった楽器や自分の体を「打楽器」にして、オーケストラと一緒に共演します。オペラの中の有名な主題が組み合わせられて演奏され、パーカッションしながらでも曲に合わせてやすい曲を選びました。</p> <p>4.【中学校向け】全校合唱もしくは器楽合奏での共演(吹奏楽部との共演も可) ピアノの伴奏とは違ったオーケストラによる伴奏で全校合唱の共演を行います。オーケストラ伴奏での合唱は子供達で夢の世界へ導いてくれる素晴らしい体験となることでしょう。 器楽合奏(吹奏楽部)での共演かどちらかをお選びください。 (合唱共演候補曲 1.マイ・バラード 2.LET'S SERACH FOR TOMORROW 3.心の瞳 4.夢の世界)</p> <p>【パターンA】(おもに小学生向け)</p> <p>5. ハチャトゥリアン: バレエ『ガイース』より「剣の舞」 独特の高速のリズムと一度聞いたら忘れられないフレーズによって、世界中で演奏される名曲です。音楽で決闘の場面などの想像をかきたてることのできる絶好の教材です。小学4年生の音楽鑑賞教材</p> <p>6. グリーク: 『ペール・ギュント』第1組曲 より 第1曲「朝」 フルートが奏でる清々しい朝の美しい情景描写が、オーボエからオーケストラへと受け継がれ、これが砂漠の朝とはびっくりのさわやかな朝を表現。 第3曲「アニラの踊り」 ピチカート奏法による軽やかでアラビア風の音楽が繰り広げられます。 第4曲「山の魔王の宮殿にて」 ファゴットなど低音楽器の奏でる不気味でコミカルな旋律で始まり、次第に迫力のオーケストラ演奏によって宮殿の喧騒が描かれます。 組曲を選んだのは「最後の曲が終わってから拍手をする」という、組曲を聴くマナーの勉強として、3曲続いても聴きやすい簡潔な曲を選びました。小学2年生の鑑賞教材</p> <p>7. チャイコフスキー: バレエ『眠れる森の美女』より「ワルツ」 チャイコフスキーの作った「3大バレエ」の中の1曲で、ディズニー映画「眠れる森の美女」中でも「いつか夢で(Once upon a dream)」という歌詞付きの曲として歌われています。オーケストラによるワルツで絢爛豪華な雰囲気を感じられます。</p> <p>8. 校歌(オーケストラスペシャル編曲版) いつもはピアノ伴奏で歌っている校歌をオーケストラ用に編曲した伴奏で合唱共演します。編曲した伴奏でいつもと違う音量での校歌は、感動していただくと確信しています。</p> <p>【パターンB】(主に中学生向け)</p> <p>5. モーツァルト: 歌劇『フィガロの結婚』序曲 序曲単体でもコンサートよく演奏され、クラシック初心者の方も気軽に聴ける1曲です。全曲を通して聞かれる軽快なメロディは、次に始まるオペラへの序奏として興味を持たせてくれます。</p> <p>6. ボロディン: 交響詩「中央アジアの草原にて」 ロシア風の音楽でアジア人のキャラバン一行が、砂漠を歩いている様子を表現しています。西洋音楽と一味違った雰囲気を感じてもらおうと、イングリッシュホルンという楽器を知ってもらいたいと思い選曲しました。</p> <p>7. ドヴォルザーク: 交響曲第9番 第1楽章「新世界より」 最期にオーケストラの重厚な響きを感じてもらうために最適な交響曲を選曲しました。ゆったりとしたテンポで始まり、各楽器のアンサンブル、フルオーケストラの重厚な響きにつながっていきます。オーケストラの迫力を十分に味わってもらえる曲です。</p> <p>8. 校歌(オーケストラスペシャル編曲版) いつもはピアノ伴奏で歌っている校歌をオーケストラ用に編曲した伴奏で合唱共演します。</p>